

2022年10月3日

三菱UFJ信託銀行株式会社

株式報酬制度における制度管理プラットフォーム提供サービスの開始について

三菱UFJ信託銀行株式会社(取締役社長:^{ながしまいむお}長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行)は、上場企業のお客さまが導入している役員および従業員向けの株式報酬制度の効率的な運営を支援するために、クラウドベースの制度管理プラットフォーム(愛称:「sPacS(スパックス)*1」)を本邦で初めて導入し、お客さまの株式報酬制度の運営をサポートするサービスを本日より開始しましたので、お知らせいたします。

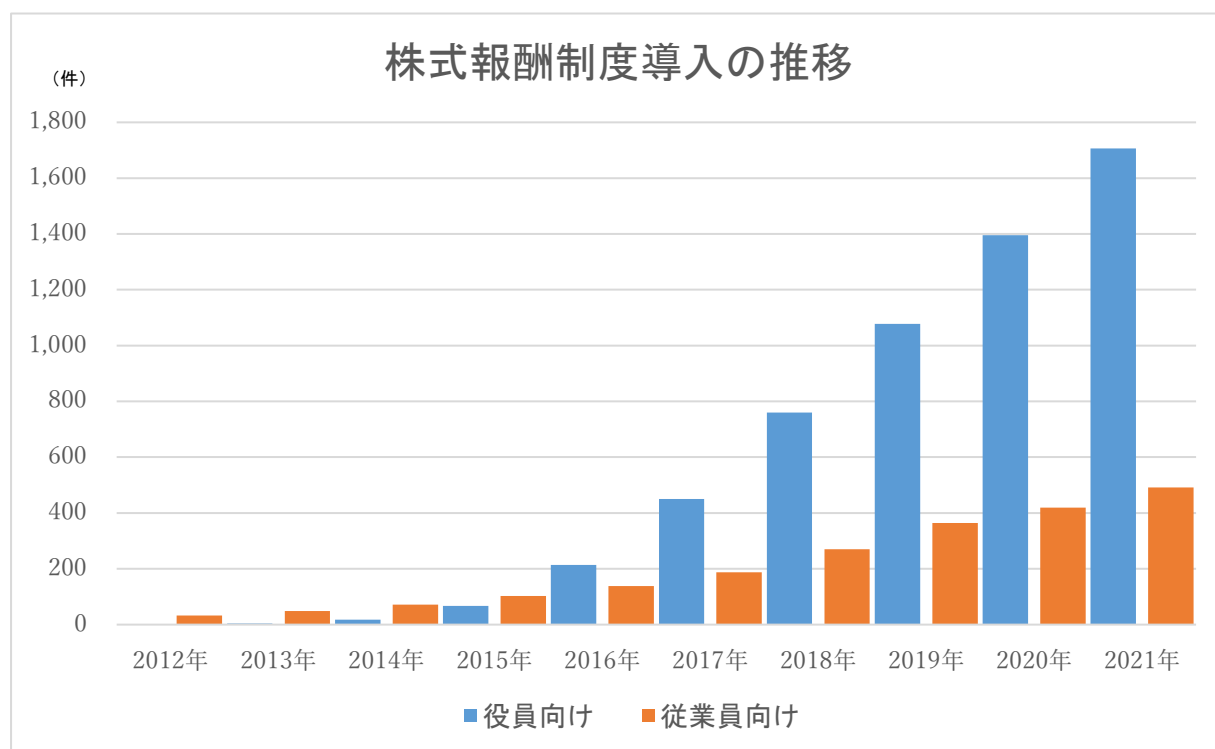
*1 stock plan participant and client support service の略

1. 導入の背景と課題認識

弊社では2010年より従業員向け(ESOP信託)に、2012年より役員向け(BIP信託)に信託を活用した株式報酬制度を企業のお客さま向けに提供して参りました。2015年に制定されたコーポレートガバナンス・コード(以下CGC)に基づき、役員向けの株式報酬制度は普及する一方、従業員を対象にする株式報酬制度の導入は遅れている状況が続いてきました。

近年、CGCに定めるサステナビリティ関連の原則にかかる取組みがオールジャパンで進捗、企業の持続的な成長の実践フェーズに入っていくなか、持続的な成長のドライバーとして、その担い手である従業員向けの株式報酬制度を検討される企業が増加傾向にあります。

しかしながら、従業員を対象に株式報酬制度を導入する場合、制度対象者となる方が制度内容や導入意図、会社経営の考えを正しく理解しなければ十分な導入効果が得られにくいこと、また、役員向けに比べて制度対象者が多くなることから、お客さま側での制度運営負荷も課題となります。



2. 提供サービスの概要

こうした環境下、三菱 UFJ 信託銀行では、株式報酬制度を導入する企業の従業員エンゲージメントを高めること、並びに制度運営負荷の軽減を主な目的として、株式報酬制度の運営をサポートするプラットフォーム「sPacS」を導入しました。制度関係者（お客さま企業、制度対象者、受託者）をクラウド上で繋ぐことによって、情報が一元管理され、制度関係者間のコミュニケーションが効率化、また、お客さま企業の管理事務をアウトソースすることが可能になります。主に以下 3 つの特徴があります。

①従業員とのエンゲージメントの活性化

株式報酬制度を効果的に運用するためには、導入企業と制度対象者（従業員）との適切なコミュニケーションが重要になります。本サービスでは、お客さま企業から制度対象者へのメッセージの発信、株価分析情報等の掲載が可能であり、コミュニケーションツール／エンゲージメントツールとしての活用が可能になります。

②株価のリアルタイム反映

プラットフォーム上で制度対象者の方の情報を管理することで、制度対象者はリアルタイムで株価を反映したご自身に交付される予定の株式の価値把握ができます。自身に付与されたポイント（およびその時価相当額）と株式に対する社内の評価に係る情報に触れることで従業員の金融リテラシーの向上と自社の価値、社会からの評価の意識づけが可能になります。

③導入企業の運営事務負担の軽減

従業員を対象に株式報酬制度を導入する場合、制度対象者（従業員）が役員に比べて多くなることから、お客さまの制度運営に係る負担は大きくなるのが一般的です。

株式報酬制度は、予め定めた規程に基づき制度運営が行われることから、規程に定める内容をプラットフォーム上に情報登録することで、期日管理・各種通知の自動化、帳票提出のオンライン化（押印レス）、制度対象者情報を含めた制度関連情報の一元管理が可能となるとともに、規程に基づく株式交付額計算の算定の事務支援を行います。

なお、当該プラットフォームは、信託型の株式報酬制度^{*2} および所謂ユニット型の株式報酬制度^{*3}を対象にしております。

*2 役員や従業員に対し役職や業績等に応じたポイントを付与し、一定の条件を満たした後にポイントの保有に応じて、予め自社株式を取得・保管した信託を通じて自社株式を交付する制度

*3 役員や従業員に対し役職や業績等に応じたポイントを付与し、一定の条件を満たした後にポイントの保有に応じて、会社から自社株式を交付する制度

三菱 UFJ 信託銀行は本プラットフォームの提供により、企業の成長の担い手である従業員への株式報酬制度の導入を支援し、企業の人的資本経営の実現に貢献してまいります。

以上